インドネシア ユースサミット 感想文

渡邊　真子（羽衣学園高等学校３年）

今回、インドネシアに行って一番感じたのはコミュニケーション力の大切さです。私たちは、出発前に Skype を使用し、会ったことのないメンバーと一緒にプレゼンテーションを作りました。直接会って打ち合わせや話し合いができない分、メンバーの意見をきちんと理解しまとめるのがとても大変でした。私のグループは、私を含め３人のグループだったのですが、二人共優しく、協力的で本当にこのグループでよかったなあと思いました。

現地でも、少しでも良いプレゼンテーションを本番で発表できるようにと、プレゼンテーションの発表の日までにメンバーでホテルの部屋に集合して何度も練習を重ねました。練習をしていくうちに、どんどんお互いにアドバイスをすることができるようになり、それと同時に信頼関係も築くことができたのではないかと思います。

実際の発表では、３人ともとても緊張していましたが、練習の成果を存分に発揮できたと思います。何よりも大変だったのが、プレゼンテーション後の質問への回答です。事前に質問が来るかもしれないとは言われていたのですが、いざとなると緊張してパニックになりそうでした。ステージの上で質問に答えているときは、次は何を聞かれるのか、うまく回答できるのかなどという不安でいっぱいで逃げ出したくなりそうでしたが、後から引率の先生に“質問が来るということはみんながプレゼンテーションに興味をもって、しっかり聞いてくれたということなんだよ”と言われ、とても嬉しかったし、頑張ってよかったなあと思いました。

プレゼンテーションの発表以外にも、現地の学校訪問や現地の学生との交流など色んな経験をさせていただきました。現地の方との交流の際では、英語があまりわからない生徒に伝えるにはどうすればいいかを意識して、できるだけ沢山コミュニケーションが取れるようにしました。短い滞在期間でしたが、沢山の友達ができ、今でも連絡を取り合っています。みんなとても心が温かく、優しい人たちばかりで本当に驚かされました。私たち日本人は発展とともに、何か大切なものを忘れているのではないかなと考えさせられました。

今回はたくさんの貴重な経験をさせていただいて、本当にありがとうございました。大変なこともたくさんありましたが、本当に楽しかったです。今回の経験を今後どんどん活かしていけたらなと思います。